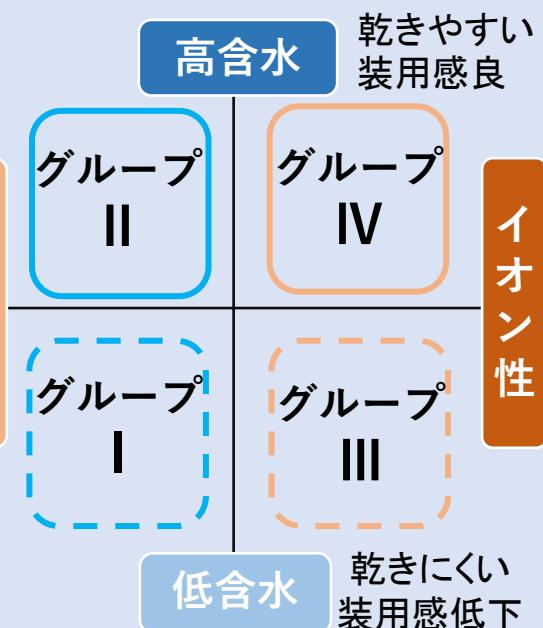




コンタクトレンズの分類

コンタクトレンズ（CL）は大きくわけて4つに分類されます。これは、イオン性と含水率の二つの要素で分けております。



『イオン性』は、CLに汚れが付着しやすい性質があります。アレルギーなどが目立つ方は、非イオン性のCLをお薦めです。

『含水率』はCLに含まれる水分量を示し、50%以上を高含水、未満を低含水と定義しています。

高含水は装用感がよく、**酸素透過性**も高い傾向がありますが、乾燥しやすい傾向にあります。

低含水は、乾燥しにくくCLの形状が安定しており扱いやすい特徴があります。

装用感の良さと乾きやすさはトレードオフ（両立せず）

CLを装用した後の装用感の良さは高含水のレンズが勝ります。しかし一方で、時間が経過するとCLから水分が蒸発し、それを補おうと涙から水分をとってしまい**乾きやすくなります**。

シリコーンハイドロゲル

ソフトCLの素材として使用されているものは大きく二つあります。

旧素材 HEMA系ハイドロゲル

新素材 シリコーンハイドロゲル

ポイントは『**酸素透過性**』

CLを安全に使用するためには酸素透過性が高い方が優れているのですが、従来の素材

(HEMA系ハイドロゲル)では、水分を多めにしないとならず、水分を多くすると乾燥感が強くなってしまいます。

シリコーンハイドロゲルはその素材自体が酸素透過性が高くなっています。低含水でも酸素を通しやすくなります。現在、販売されるCLの素材として主流なっています。

ご自分の使用しているレンズの添付文書をご確認ください。